

普天間飛行場をはじめとした返還予定地については、関係市町村等と連携を図り、跡地利用計画の策定を促進します。

戦後処理問題については、不発弾処理の早期解決に取り組むとともに、沖縄戦における戦没者の遺骨収集の加速化を図ります。

所有者不明土地問題については、早期に抜本的解決が図られるよう法制上の措置や財政措置などを国に求めてまいります。

【沖縄から世界へ、平和の発信】

平和を希求する「沖縄のこころ」の発信に向け、平和の礎や沖縄平和賞などの取組を推進するとともに、平和祈念資料館における学芸員育成や調査研究の充実を図ります。



平和祈念資料館外観

第32軍司令部壕については、「第32軍司令部壕保存・公開検討委員会」において、保存・公開に向けた議論を進めてまいります。

第3 「生活分野」 —沖縄らしい優しい社会の構築—

【地域力の向上・くらしの向上】

地域の課題解決に向けて、ボランティア、NPO活動などに県民が主体的に参加できる仕組みづくりや「おきなわSDGsパートナー」の連携促進など、多様な主体が連携した取組を促進します。

民生委員・児童委員の活動環境の改善と充足率向上を図るとともに、適切な福祉サービスが利用できる体制の構築を推進します。

県外都市部における移住相談会や移住体験ツアーの開催など、U J I ターン者の持続的受入に向けた取組を推進します。



【世界に誇る沖縄の自然環境を守る】

環境分野においては、地球温暖化対策及び自然環境の保全の啓発等に取り組めます。



世界自然遺産登録PR画像

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産の登録に向け、国等と連携を強化するとともに、「国立自然史博物館」の誘致に向けて、官民一体となった取組を進めてまいります。

「沖縄県希少野生動植物保護条例」に基づく、希少種保護や外来種対策等

に取り組むとともに、ジュゴンの生息状況等の調査を継続してまいります。

犬猫殺処分ゼロから廃止に向け、譲渡の拠点施設を整備します。

「沖縄県自然環境再生指針」を踏まえ、再生事業に関する市町村支援や自然環境の保全・再生・適正利用を図るとともに、全島緑化の取組などを推進します。

森や水及び水源地域に対する理解の促進と地域の振興を図るため、北部地域の水源の維持や環境保全、地域振興等、やんばるの森・いのちの水を守る取組を推進します。

赤土等流出防止対策については、「沖縄県赤土等流出防止対策基本計画」に基づく総合的な取組を推進します。

海岸漂着物の回収処理を推進するとともに、海洋プラスチック等の抑制に向けた陸域の発生源対策等に取り組めます。

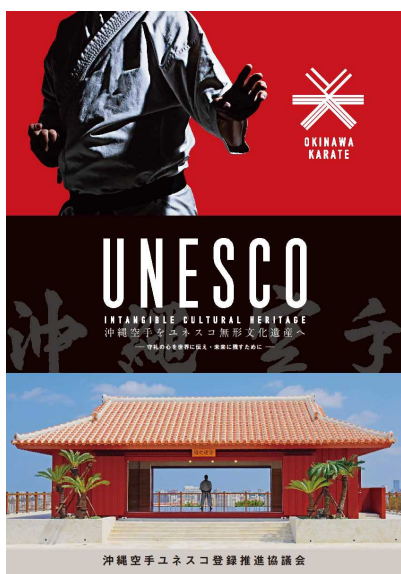
食品ロス問題について、多様な主体が連携し、県民運動として展開していくため、「沖縄県食品ロス削減推進計画」を策定し、食品ロスの削減に向けて取り組めます。

【歴史と誇りある伝統文化の継承と発展】

伝統文化の継承と発展については、「しまくとぅば普及センター」の役割や取組を強化するとともに、組踊、琉球舞踊、沖縄芝居などの伝統文化の後継者育成の取組を強化してまいります。



組踊「執心鐘入」



沖縄空手ユネスコ登録推進ポスター

空手の保存・継承・発展については、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信するとともに、指導者・後継者の育成、受入体制の強化による交流人口の拡大を図ります。あわせて、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民気運の醸成や、沖縄伝統空手道振興会の運営基盤強化に向けた支援等を通じ、沖縄空手振興ビジョンで示す将来像の実現に向けて取り組めます。

令和4年度に初めて沖縄県で開催される「国民文化祭」及び「全国障害者芸術・文化祭」については、「国民文化祭・障害者芸術文化祭準備室」を新設し、市町村など関係機関と連携しながら、開催成功に向けて取り組んでまいります。

【医療の充実・健康福祉社会の実現】

医療の提供体制の充実に向けては、現状を踏まえ、地域医療連携体制の強化や不足が見込まれる医療機能の病床の整備などに取り組むとともに、北部、離島地域の医師不足及び県内全域における医師の診療科偏在の解消などに取り組めます。

薬剤師確保については、需給予測を踏まえ、県内国公立大学への薬学部設置の可能性などについて調査を行います。

沖縄県立看護大学については、公立大学法人化に向け、計画的に移行作業を進めてまいります。

西普天間住宅地区跡地においては、沖縄健康医療拠点の形成を促進します。

健康福祉社会に向けては、働き盛り世代の健康増進や歯科口腔保健対策の強化に取り組むなど、健康長寿復活プロジェクトを推進してまいります。

障害のある人に対する誤解や偏見等をなくすための取組や手話の普及啓発、発達障害に対する地域支援体制の整備など、障害者の地域生活支援に取り組んでまいります。



薬剤師の業務風景

ひきこもりの問題については、調査や支援が行えるよう体制づくりに取り組みます。

【子育て・高齢者施策の推進】

子どもの貧困対策については、就学援助等の充実、生活困窮家庭に対する食支援体制の整備などに取り組みます。



子ども支援団体への食料品寄贈式

令和3年度末までの待機児童の解消に向け、保育所の施設整備の支援や保育士確保を重点においた施策等による市町村の支援を強化します。

また、認可外保育施設の入所児童の処遇向上などを含め、多様なニーズに対応した

子育て支援、保育サービスなどの充実を図るとともに、質の高い幼児教育・保育の提供に向けて取り組みます。

放課後児童クラブについては、設置促進や運営費等に対する支援を行い、利用料金の低減や登録できない児童の解消に取り組みます。

母子健康包括支援センターの設置促進などライフステージに即した母子保健、子育て支援の施策を推進します。

両親以外の者が子どもを育てる養育者世帯の課題を把握し、相談体制を強化するなど、引き続き、ひとり親家庭等の支援を推進します。

児童虐待防止対策については、児童相談所の体制強化を図るとともに、虐待を受けた子どもの相談が容易にできる環境を整備します。



介護ロボット(移乗支援)を活用した介護

介護サービスの充実に向け、地域包括ケアシステムの推進や介護人材の確保に取り組むとともに、認知症施策の強化や特別養護老人ホーム等の整備支援などに取り組めます。

【安心・安全で快適な社会づくり】

人に優しい交通手段の確保に向けて、基幹バスシステムの構築やバス運転手確保の支援に取り組むとともに、ICTで交通手段などをつなぐ、Ma a S（マース）の導入など、公共交通の利便性向上を目指します。

住環境の整備については、県営高原団地、赤道団地、平良北団地等の建替えを推進するとともに、民間住宅の省エネ化やバリアフリー化を促進します。

高齢者等の住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援の促進に向けて取り組めます。

「新たな日常」の実現に向けて、「デジタル社会推進課」を新設し、デジタル化を強力かつ速やかに推進します。

大規模災害の教訓を踏まえ、県民の防災意識の向上と迅速な避難行動の確保を図るとともに、国、市町村、民間事業者等と連携した防災訓練や地域防災力の一翼を担う消防団の充実・強化や消防防災ヘリコプターの導入に向けた取組を推進します。



防災訓練

自然災害や感染症などの危機事案に対応するため、「防災危機管理センター棟（仮称）」の整備に向けて取り組みます。

災害時要配慮者に対する福祉支援体制の充実を図ります。

災害に強い県土づくりに向けては、無電柱化の推進、老朽化した道路施設及び海岸堤防等の改修、民間施設などの耐震診断及び改修の支援など、強靱化に向けた取組を推進します。

治水・浸水、土砂災害、高潮などの対策や、森林の維持・造成による潮風害の防止、山地災害復旧・予防及び生活環境の保全を図ります。

水道施設の計画的な更新や耐震化を推進するとともに、下水道施設の整備拡張や計画的な更新、耐震化の推進、市街地の浸水対策の促進などに取り組みます。



水道施設の計画的な更新や耐震化の推進

「ちゅらうちな一安全なまちづくり条例」に基づき、適正飲酒の働きかけを含めた「ちゅらさん運動」を一層深化させます。

「沖縄県犯罪被害者等支援条例（仮称）」の制定に向けて取り組むとともに、犯罪被害者支援活動の充実に向けた取組を推進します。

子ども・女性・高齢者等の安全確保、少年の非行防止・保護対策のほか、「沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例」の改正等による水難事故防止対策の強化など、安全・安心に暮らせる地域づくりに取り組みます。



警察用船舶による海上警戒警ら



飲酒運転根絶県民大会



テロ対処訓練

交通ルールの遵守とマナーの向上、飲酒運転根絶に向けた県民意識の高揚など、交通の安全を確保するための取組を推進します。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に伴う聖火リレーなど、大規模な行事に備えたテロ等の未然防止対策のほか、緊急の事態に即応するための諸対策を推進するとともに、国境離島の警備強化に取り組めます。

また、サイバー空間における脅威や暴力団・準暴力団等による組織犯罪などへの的確な対処に取り組んでまいります。

DVやストーカー、性犯罪等の被害未然防止対策を強化するとともに、「沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター」における被害者支援に取り組めます。

国籍が異なる男女間のトラブル等の相談及び支援体制の強化に向けて取り組んでまいります。

消費者被害の未然防止と早期救済に向けた市町村相談体制の充実や消費者への啓発などに取り組むとともに、令和4年度の成年年齢引き下げに向けた消費者教育に取り組めます。

【離島力の向上】

離島の新型コロナウイルス感染症対策については、市町村及び関係機関と連携し、医療人材の確保・支援、患者搬送体制の整備などに取

り組みます。

離島診療所への医師派遣や専門医による巡回診療などによる医療提供体制の確保、離島患者の経済的負担の軽減などに取り組んでまいります。

離島航路及び航空路の交通コストの低減、生活コストの低減、離島からの高校進学等の支援、船舶建造の支援など、離島の定住条件の整備に取り組みます。

本島周辺離島8村への水道水の安定供給と料金低減などを図るため、水道広域化に取り組んでまいります。



交通コストの低減



海底光ケーブル敷設船

情報通信については、離島の情報通信基盤の高度化の一環として、本島と北大東島を結ぶ海底光ケーブルの整備を推進するとともに、離島及び過疎地域における陸上の光ファイバー網の整備、八重山地区民放ラジオ放送中継局等の再構築及び強靱化等に取り組みます。

農林水産業については、生産性向上、担い手の育成・確保、製糖業の経営安定、黒糖や地域の農林水産物の販路拡大、6次産業化などの取組を推進し、離島の稼ぐ力の向上に向けて取り組んでまいります。



沖縄黒糖商談会

肉用牛生産の活性化に向けて、飼料生産の基盤整備などを推進するとともに、農業用水確保等の農業生産基盤の整備に取り組みます。

港湾・空港施設の更新整備・機能向上、道路・公園等の離島における社会基盤の整備を推進します。



肉用牛生産の活性化(採草地の整備)

下地島空港については、周辺用地を含め、利活用を促進するとともに、「下地島宇宙港事業」の早期展開を支援します。

デジタルトランスフォーメーション(DX)・オンラインの活用も含めた交流促進や観光振興などにより、離島・島しょ地域の活性化を図るとともに、離島におけるテレワーク活用を促進します。

【教育振興】

持続可能な社会の担い手の育成に向けて、教育活動を通じたSDGsの推進に取り組みます。

学校教育については、新たな時代を創造する資質・能力を育むため、授業改善や学校改善を推進します。



ICTを活用した授業

また、少人数学級を中学3年生まで拡大し、学校教育の充実に取り組むとともに、ICTを活用した教育環境の整備と学習活動の充実に取り組みます。

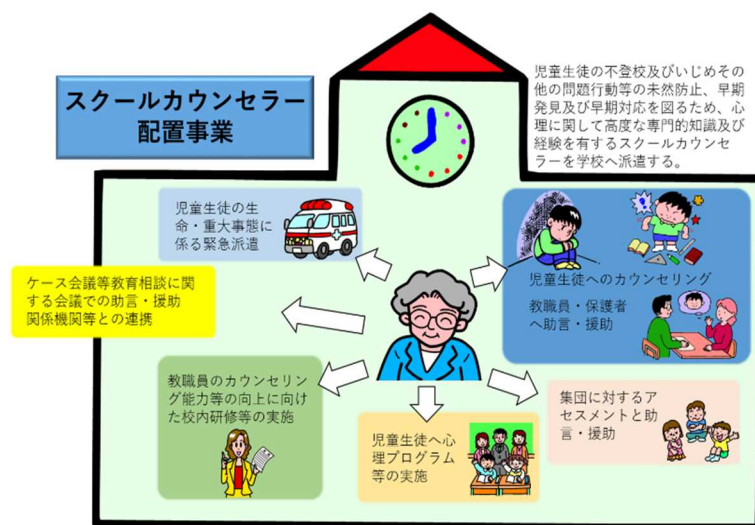
学校教育の充実に向けて、正規教員率の改善に取り組むとともに、地域や保護者の理解を得ながら、長時間勤務の縮減をはじめ

めとする、学校の働き方改革に取り組みます。

小学校から高等学校までの学びをつなぎ、自己実現と社会参画を図るキャリア教育の充実に努めてまいります。

沖縄らしいインクルーシブ教育システムの構築に向けて、県立真和志高等学校に「ゆい教室」を開設し、障害のある人も障害のない人も共に学ぶ取組を進めてまいります。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用等により、いじめや不登校等の未然防止、早期対応に取り組むとともに、警察機関と連携し、薬物乱用防止教育などを推進します。



新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、海外短期研修の高校生派遣など、グローバル人材の育成に向けて取り組みます。

那覇市内の新たな特別支援学校について、令和4年度の開校に向けた取組を推進するとともに、中部地区の特別支援学校の過密化解消に向けて抜本的な対策に取り組めます。

特色ある教育を実践し、個性豊かな人材育成に貢献している私立学校を支援し、私学教育の充実、多様な人材の育成に取り組めます。

給付型奨学金の実施など、大学等への進学を支援し、進学率の向上を図るとともに、大学や専門学校等に進学の意欲がある低所得世帯の学生に対し、国と連携し、支援に取り組んでまいります。



家庭教育支援スキルアップ研修会(屋部中)

「知の拠点」として県立図書館が県民に親しまれるよう取り組むとともに、離島等の図書館未設置町村における移動図書館の実施などにより読書環境の充実を図ります。

玉城青少年の家については、令和4年度の全面開所に向けて、取り組んでまいります。

また、「家^や一なれー」運動を推進するとともに、幅広い地域住民等の参画による学習補助や学校支援、子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりに取り組みます。



空とぶ図書館(移動図書館)の様子